

2008年
10月12日(日)

開場:午後6時 開演:午後7時

会場:オーバード・ホール

入場料:1,500円(1,2階 指定席)
1,200円(3,4階 自由席)

【チケット販売場所】

インフォマート、アスネットカウンター、
チケットぴあ<Pコード:299-049>、
ファミリーマート、サークルK-サンクス

○主催/富山市、越中民謡の祭典実行委員会

○共催/(財)富山市民文化事業団

○後援/北日本新聞社、北日本放送

○お問い合わせ

富山市観光振興課 TEL.076(443)2072

富山市観光協会 TEL.076(439)0800

○チケットに関するお問い合わせ

サウンドソニック TEL.076(491)7493

越中民謡の祭典

本場の臨場感をそのままに！ 富山の伝統民謡と、韓国民俗舞踊の豪華共演



富津せり込みや蝶六の祭典
せり込み蝶六



富山県民謡越中八尾おわら保存会
おわら



新巻浜獅子大鼓保存会
浜獅子大鼓

越中五部山こぎりこ
こぎりこ

福光もちつき大鼓保存会
もちつき大鼓



富山公演 金沢歌舞劇場(韓国)
韓国舞踊



本場の臨場感をそのままに！富山の伝統民謡と、韓国民俗舞踊の豪華共演

越中民謡の祭典

全国的にも名高い越中民謡を地元保存団体が、本場の臨場感をそのままに唄い、踊ります。

越中富山には、優しさや力強さを兼ね備えた歴史と伝統ある民謡が数多くあり、富山は「民謡の宝庫」といえます。富山の民謡は四季の豊かな自然や、日々の生活によって生まれ、唄い継がれてきました。情感豊かな民謡は、今でも多くの人々に愛されています。「越中民謡の祭典」は、こうした富山の伝統に間近で触れ、感じていただけます。

また、今回は特別出演として、韓国(春川市)舞踊団の伝統ある韓国舞踊もお楽しみいただけます。富山の伝統民謡と、韓国民俗舞踊の共演。本場の雰囲気と温もりを、ぜひお楽しみください。

おわら

富山県民謡越中八尾おわら保存会

「おわら風の盆」は、八尾に暮らす人々が大切に守り育ててきた民謡行事であり、町の人々が最も大事にする特別な行事です。

「おわら」の歴史は、元禄のころと言われていました。生活のなかから見いだした喜びを表現しながら、町を練り歩いたことが始まりと言われています。「おわら」の語源については、農作物収穫の時期に豊年を祈った「おわら(大葉)」などの諸説があります。時が経ち、二百十日の厄日に豊穰を祈る「風の盆」として発展し、今日に至ります。



漁獅子太鼓

新湊浜獅子太鼓保存会

日本海の荒波が打ち寄せる富山県新湊。ここに古典芸能漁獅子太鼓が伝わります。放生津浜に伝わる放生会の法楽に獅子が厄払いとして行道に先導し、その左右に天狗と鬼面の獅子子(ししこ)が従っていたと古い記録が残っています。

豪華さと迫力に満ちた「ばちさばき」と、聞くものを魅了してやまない「笛の音」は高い評価を得ており、今では大漁祈願太鼓として全国に知られています。



こきりこ

越中五箇山こきりこ唄保存会

世界遺産五箇山の上梨の山里を中心に伝承された、小・中学校音楽の教科書にも採用されている全国的に有名な古代民謡です。

この民謡は古文獻に記載のあることから、大化の改新(7世紀)頃から田楽として歌い継がれてきたとの語り伝えも、かなり信ぴょう性があるとされています。

「こきりこ」は、奈良時代の万葉集などにみる純真、素朴にして大らかな古代日本精神を伝承しています。世界遺産として高く評価される「合掌造り」とともに、五箇山を代表する歴史遺産です。



もちつき太鼓

福光もちつき太鼓保存会

今から800年前の寿永2年、木曾義仲率いる源氏軍と平維盛率いる平氏軍が、倶利伽羅山で大合戦を行い、福光城主石黒一族は、義仲の軍勢に加わり、大勝利を収めました。福光城主一族の凱旋を祝い、歓迎と祝賀の心を込めて手拍子、足拍子、笛、太鼓で威勢よく餅をついて祝ったのが「もちつき太鼓」の始まりです。

現在の「もちつき太鼓」は三味線、笛、太鼓に合わせて、つき手が杵を舞わせ餅をつきあげます。結婚式など、おめでたい時の行事として行われています。



せり込み蝶六

魚津せり込み蝶六保存会

この民謡は今から約600年前、浄土真宗の念仏踊りとして、越中に入り、善男善女を仏門に帰依させると共に後世へと歌い踊り継がれて来たと言われています。激しい音頭のリズムに合わせて踊るこの踊りは、まるで極楽蝶が舞うかの様であり、名前もそこから生まれ、蝶六と名付けられたと言われています。

手踊りを初め、扇笠等を持って踊る多彩な踊りであり、見る人の心も踊らすにぎやかなおどりです。三味線、胡弓、太鼓も入り、情緒豊かな民謡として、富山県の代表的な民謡の一つにあげられています。



特別公演「韓国舞踊」

キムキョンフェ 金傾會舞踊団

「金傾會(キムキョンフェ)舞踊団」は韓国江源地域に伝わる伝統舞踊の保存継承や発展のために活動しています。

韓国舞踊は歴史的に古く、高句麗時代より王朝宮廷内で唄われていた民謡がもたれていると言われていました。時代とともに庶民にまで伝わり、今では華やかな踊りも加わって伝承されています。

今回披露される「扇散調(ブチェサンゾ)」は色鮮やかな衣裳で身を包んだ踊り手が、女性のもつ繊細かつ優雅な世界を韓国伝統楽器である伽椰琴(カヤグム)のメロディーにのせて表現します。



2008年10月12日(日) 午後7時~(開場:午後6時)

会場: オーバード・ホール(富山市牛島町)

入場料: 1,500円(1・2階 指定席)

1,200円(3・4階 自由席)

お問い合わせは

富山市観光振興課/TEL 076(443)2072 FAX 076(443)2184

富山市観光協会/TEL 076(439)0800 FAX 076(439)0810

チケットに関するお問い合わせは

サウンドソニック/TEL 076(491)7493

交通のご案内

JRご利用/ JR富山駅下車、北口正面から徒歩2分

航空ご利用/ 富山空港着後、空港よりタクシーで20分/バスで25分

お車ご利用/ 北陸自動車道富山インター出口から20分

チケットお取扱い

アスネットカウンター、インフォーマット、

チケットぴあ(Pコード:299-049)、

ファミリーマート、サークルK、サンクス